

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
パーキンソン病におけるリン酸化アルファ・シヌクレイン制御薬剤の開発	望月 秀樹	神経学	1,600	補 文部科学省
パーキンソン病における $\alpha$ -synuclein と酸化ストレスの共同作用機序	王 梅	神経学	700	補 文部科学省
脳梗塞の発症・進展に関わるメタボリック症候群分子メカニズムの解明	下 由美	神経学	1,700	補 文部科学省
グルタミン酸輸送体異常とリン酸化タウの相互作用の解析	志村 秀樹	神経学	1,100	補 文部科学省
肥満候補遺伝子 <i>Azgp1</i> を用いた抗肥満創薬の試み	合田 朋仁	腎臓内科学	1,600	補 文部科学省
統合失調症患者における反応競合下の前頭葉の活性に関する事象関連 fMRI を用いた検討	福田 麻由子	精神医学	700	補 文部科学省
膵 $\beta$ 細胞分化に関わる転写因子の網羅的検索—プロテオミックスの手法を用いて—	河盛 隆造	代謝内分泌学	2,000	補 文部科学省
膵臓特異的転写因子を用いた膵 $\beta$ 細胞の再生医療の研究	萩原 健	代謝内分泌学	1,000	補 文部科学省
MRS, MRI を用いた新規骨格筋代謝マーカーの確立とその応用	田村 好史	代謝内分泌学	1,800	補 文部科学省
臍帯上皮細胞を使用した培養表皮シートの作製	溝口 将之	皮膚科学	1,600	補 文部科学省
ヒト皮膚器官培養系を用いたカルシウムポンプ病の実験モデルの作成と遺伝子発現解析	黛 暢恭	皮膚科学	1,300	補 文部科学省
疾患モデル動物を用いた多段階発がん研究：腎発がんの遺伝情報システム	樋野 興夫	病理学 2	9,700	補 文部科学省

小 計 12 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
腫瘍随伴マクロファージによる血管新生機構を標的とした乳癌治療の開発と臨床応用	廣田 聡子	輸血学	2,100	補 文部科学省
パーキンソン病における神経細胞死の機序解明とその防御	水野 美邦	老研センター	17,300	補 文部科学省
ヘパラン硫酸プロテオグリカン、パルカンによる筋収縮シグナルの制御の研究	平澤 恵理	老人性疾患治療病態研究センター	2,500	補 文部科学省
細胞外マトリックス分子によるシグナル局在化の分子機構の解明	平澤 恵理	老人性疾患治療病態研究センター	16,800	補 文部科学省
難聴遺伝子 GJB2 KO マウスにおける蝸牛障害のナノスケールの解析	畠 将晃	耳鼻咽喉科学	2,100	補 文部科学省
ダニ主要アレルゲンのシステインプロテアーゼ活性に依存する IgE 産生誘導現象の解析	高井 敏朗	アトピーセンター	2,100	補 日本学術振興会
血液線溶因子による生体内造血制御機構の解明	Heissig Beat	アトピーセンター	1,900	補 日本学術振興会
アレルギー疾患に関わる細胞機能制御遺伝子と転写調節因子	西山 千春	アトピーセンター	1,500	補 日本学術振興会
重症アレルギー性結膜疾患の角膜障害における肥満細胞キマーゼの関与とその制御	海老原 伸行	眼科学	2,500	補 日本学術振興会
ブドウ球菌属に於ける遺伝子の水平伝播機構の解析	渡邊 真弥	感染制御科学	1,000	補 日本学術振興会
生体肝移植における過小グラフトの血行動態に関する臨床研究	川崎 誠治	肝胆膵外科学	10,600	補 日本学術振興会
自己吸収型延長器による頭蓋骨延長術の実験的研究	小室 裕造	形成外科学	600	補 日本学術振興会

小計 12件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
遠位端側神経縫合における二重神経支配のメカニズム	梁井 皎	形成外科学	700	補 日本学術振興会
E B ウイルス感染によるヒトNK細胞のアポトーシス耐性機序	磯部 泰司	血液学	1,200	補 日本学術振興会
SLE 発症における DNA 転写統御機構異常の重要性— 新たな治療戦略への展望—	関川 巖	膠原病内科学	700	補 日本学術振興会
肺リンパ脈管筋腫症 (LAM) におけるLAM細胞の増殖および病変形成機構の解明	瀬山 邦明	呼吸器内科学	4,500	補 日本学術振興会
胎児環境汚染のリスク評価に有用なバイオマーカーの同定	長田 久夫	産婦人科学	700	補 日本学術振興会
細菌性中耳炎におけるアポトーシスによる中耳粘膜肥厚の分子制御とその治療	古川 正幸	耳鼻咽喉科学	2,100	補 日本学術振興会
消化器発癌における脂質と酸化ストレスの役割の解明 遺伝子改変動物モデルを用いて	渡辺 純夫	消化器内科学	6,118	補 日本学術振興会
慢性肝疾患・肝癌の進展性規定と治療抵抗性形成におけるアディポサイトカインの役割	池嶋 健一	消化器内科学	500	補 日本学術振興会
過敏性腸症候群における腸管神経ペプチドホルモン系の動き—大腸粘膜細菌の役割	大草 敏史	消化器内科学	1,500	補 日本学術振興会
スフィンゴミエリンの未熟児における脳・神経発達に及ぼす影響の検討	清水 俊明	小児科学	500	補 日本学術振興会
小児期炎症性腸疾患の病態解析および栄養療法の検討	大塚 宜一	小児科学	1,500	補 日本学術振興会
胆道閉鎖症の病因—血中母体マイクロケミリズムの可能性についての研究	小林 弘幸	小児外科学	100	補 日本学術振興会

小 計 12件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った

研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
家族性パーキンソン病の原因遺伝子の機能解明と新規原因遺伝子の同定に向けて	服部 信孝	神経学	7,400	補 日本学術振興会
神経変性疾患・タウ蛋白蓄積症の診断法の実用化と病態解明	森 秀生	神経学	900	補 日本学術振興会
若年性パーキンソン病における PINK1 および DJ-1 遺伝子変異の大規模解析	佐藤 健一	神経学	1,700	補 日本学術振興会
RNA 編集産物 UBB+1 の制御を標的とした新規脳梗塞治療	卜部 貴夫	神経学	1,700	補 日本学術振興会
Lipid rafts における遺伝性パーキンソン病原因タンパクの機能解析	久保 紳一郎	神経学	2,200	補 日本学術振興会
Mass spectrometry を用いた I g A 腎症の原因抗原の解明	鈴木 祐介	腎臓内科学	2,000	補 日本学術振興会
糸球体 I g A 沈着における T h 2 型粘膜免疫反応の役割	富野 康日己	腎臓内科学	2,500	補 日本学術振興会
変形性膝関節症に対する運動療法の有効性とその自然経過：SNP による解析	黒澤 尚	整形外科	100	補 日本学術振興会
統合失調症の認知機能の fMRI、ERP、LORETA を用いた統合的検討	桐野 衛二	精神医学	700	補 日本学術振興会
2 型糖尿病感受性遺伝子 W n t 5 b の肝糖代謝における役割の解明	金澤 昭雄	代謝内分泌学	1,800	補 日本学術振興会
膵発生分化、膵 β 細胞機能におけるヘッジホッグシグナルの役割の検討	綿田 裕孝	代謝内分泌学	1,800	補 日本学術振興会
羊膜細胞による神経再生研究—神経幹細胞としての確立と虚血脳への移植	新井 一	脳神経外科学	1,100	補 日本学術振興会

小 計 12 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
ヘイリーヘイリー病とダリエ病遺伝子のプロモーター領域の解析 (第2次)	池田 志 孝	皮膚科学	1,300	補 日本学術振興会
MPO-ANCA 関連血管炎自然発症マウスの疾患感受性遺伝子の同定	濱野 慶 朋	病理学 2	1,700	補 日本学術振興会
GPI アンカー蛋白をコードする Erc 遺伝子の機能解析	張 丹 青	病理学 2	1,900	補 日本学術振興会
甲状腺癌及び好酸性細胞腫瘍における Niban 遺伝子発現とミトコンドリア異常の解析	藤井 博 昭	病理学 2	1,800	補 日本学術振興会
Birt-Hogg-Dube 症候群原因遺伝子 (BHD) の腫瘍抑制機能の解明	小林 敏 之	病理学 2	2,200	補 日本学術振興会
肝発癌過程における dbpA の役割	梶野 一 徳	病理学 2	1,800	補 日本学術振興会
大脳基底核におけるシナプス可塑性と虚血耐性に対する吸入麻酔薬の影響に関する研究	西村 欣 也	麻酔科・ペインクリニック講座	1,100	補 日本学術振興会
脳内神経ネットワーク見たモルヒネと吸入麻酔薬の作用機序に関する研究	赤澤 年 正	麻酔科・ペインクリニック講座	1,200	補 日本学術振興会
モデルマウスを用いた Schwartz-Jampel 症候群の病態生理と治療研究	林 明 人	リハビリテーション医学	1,000	補 日本学術振興会

小 計 9 件

( 合 計 81 件 )

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った

研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
遠位端側神経縫合における二重神経支配のメカニズム	梁井 皎	形成外科学	700	補 日本学術振興会
EBウイルス感染によるヒトNK細胞のアポトーシス耐性機序	磯部 泰司	血液学	1,200	補 日本学術振興会
SLE 発症における DNA 転写統御機構異常の重要性—新たな治療戦略への展望—	関川 巖	膠原病内科学	700	補 日本学術振興会
肺リンパ脈管筋腫症 (LAM) におけるLAM細胞の増殖および病変形成機構の解明	瀬山 邦明	呼吸器内科学	4,500	補 日本学術振興会
胎児環境汚染のリスク評価に有用なバイオマーカーの同定	長田 久夫	産婦人科学	700	補 日本学術振興会
細菌性中耳炎におけるアポトーシスによる中耳粘膜肥厚の分子制御とその治療	古川 正幸	耳鼻咽喉科学	2,100	補 日本学術振興会
消化器発癌における脂質と酸化ストレスの役割の解明 遺伝子改変動物モデルを用いて	渡辺 純夫	消化器内科学	6,118	補 日本学術振興会
慢性肝疾患・肝癌の進展性規定と治療抵抗性形成におけるアディポサイトカインの役割	池嶋 健一	消化器内科学	500	補 日本学術振興会
過敏性腸症候群における腸管神経ペプチドホルモン系の動き—大腸粘膜細菌の役割	大草 敏史	消化器内科学	1,500	補 日本学術振興会
スフィンゴミエリンの未熟児における脳・神経発達に及ぼす影響の検討	清水 俊明	小児科学	500	補 日本学術振興会
小児期炎症性腸疾患の病態解析および栄養療法の検討	大塚 宜一	小児科学	1,500	補 日本学術振興会
胆道閉鎖症の病因—血中母体マイクロキメリズムの可能性についての研究	小林 弘幸	小児外科学	100	補 日本学術振興会

小 計 12件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
家族性パーキンソン病の原因遺伝子の機能解明と新規原因遺伝子の同定に向けて	服部 信孝	神経学	7,400	補 日本学術振興会
神経変性疾患・タウ蛋白蓄積症の診断法の実用化と病態解明	森 秀生	神経学	900	補 日本学術振興会
若年性パーキンソン病における PINK1 および DJ-1 遺伝子変異の大規模解析	佐藤 健一	神経学	1,700	補 日本学術振興会
RNA 編集産物 UBB+1 の制御を標的とした新規脳梗塞治療	ト部 貴夫	神経学	1,700	補 日本学術振興会
Lipid rafts における遺伝性パーキンソン病原因タンパクの機能解析	久保 紳一郎	神経学	2,200	補 日本学術振興会
Mass spectrometry を用いた IgA 腎症の原因抗原の解明	鈴木 祐介	腎臓内科学	2,000	補 日本学術振興会
糸球体 IgA 沈着における Th 2 型粘膜免疫反応の役割	富野 康日己	腎臓内科学	2,500	補 日本学術振興会
変形性膝関節症に対する運動療法の有効性とその自然経過：SNP による解析	黒澤 尚	整形外科	100	補 日本学術振興会
統合失調症の認知機能の fMRI、ERP、LORETA を用いた統合的検討	桐野 衛二	精神医学	700	補 日本学術振興会
2 型糖尿病感受性遺伝子 Wnt5b の肝糖代謝における役割の解明	金澤 昭雄	代謝内分泌学	1,800	補 日本学術振興会
膵発生分化、膵 β 細胞機能におけるヘッジホッグシグナルの役割の検討	綿田 裕孝	代謝内分泌学	1,800	補 日本学術振興会
羊膜細胞による神経再生研究－神経幹細胞としての確立と虚血脳への移植	新井 一	脳神経外科学	1,100	補 日本学術振興会

小計 12 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位千円)	補助元又は委託元
ヘイリーヘイリー病とダリエ病遺伝子のプロモーター領域の解析 (第2次)	池田志孝	皮膚科学	1,300	補 日本学術振興会
MPO-ANCA 関連血管炎自然発症マウスの疾患感受性遺伝子の同定	濱野慶朋	病理学2	1,700	補 日本学術振興会
GPI アンカー蛋白をコードする Erc 遺伝子の機能解析	張丹青	病理学2	1,900	補 日本学術振興会
甲状腺癌及び好酸性細胞腫瘍における Niban 遺伝子発現とミトコンドリア異常の解析	藤井博昭	病理学2	1,800	補 日本学術振興会
Birt-Hogg-Dube 症候群原因遺伝子 (BHD) の腫瘍抑制機能の解明	小林敏之	病理学2	2,200	補 日本学術振興会
肝発癌過程における dbpA の役割	梶野一徳	病理学2	1,800	補 日本学術振興会
大脳基底核におけるシナプス可塑性と虚血耐性に対する吸入麻酔薬の影響に関する研究	西村欣也	麻酔科・ペインクリニック講座	1,100	補 日本学術振興会
脳内神経ネットワーク見たモルヒネと吸入麻酔薬の作用機序に関する研究	赤澤年正	麻酔科・ペインクリニック講座	1,200	補 日本学術振興会
モデルマウスを用いた Schwartz-Jampel 症候群の病態生理と治療研究	林明人	リハビリテーション医学	1,000	補 日本学術振興会

小計 9件

(合計 81件)

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った

研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



## 2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	J Gen Virol	Oral Vaccination with Modified Vaccinia Ankara (MVA) Covalently Attached to TMPEG-modified Cationic Liposomes Overcomes Preexisting Poxvirus Immunity from Recombinant Vaccinia Immunization.	Naito T. (内藤俊夫)	総合診療科
2	Intern Med	Seroprevalence of IgG anti-toxoplasma antibodies in asymptomatic patients infected with human immunodeficiency virus in Japan.	Naito T. (内藤俊夫)	総合診療科
3	Genral Med	Acute retroviral syndrome presenting as infectious mononucleosis.	Naito T. (内藤俊夫)	総合診療科
4	Future Cardiology	Lipopolysaccharide, CD14, and Toll-like Receptors: An Emerging Link between Innate Immunity and Atherosclerotic Disease	Shimada K, Daida H	循環器内科学
5	Journal of cardiology	Research Group of Quality of Life for Ischemic Heart Disease : Health-related quality of life in Japanese patients with ischemic heart disease: a multicenter cooperative investigation assessed using SF-36	Nishiyama S, Daida H,	循環器内科学
6	International Heart Journal	; Impact of Aspirin Treatment on Long-Term Outcome (Over 10Years) After Percutaneous Coronary Intervention	Njaman W, Daida H	循環器内科学
7	International journal of cardiology	Long-term (11-year) statin therapy following percutaneous coronary intervention improves clinical outcome and is not associated with increased malignancy	Kasai T,Daida H	循環器内科学
8	Circulation journal	Clinical evaluation of adverse effects during bepridil administration for atrial fibrillation and flutter	Yasuda M, Daida H	循環器内科学
9	Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology	Establishment of a high sensitivity plasma assay for human pentraxin3 as a marker for unstable angina pectoris	Inoue K, Daida H	循環器内科学
10	International Heart Journal	Efficacy and safety of controlled-release isosorbide-5-mononitrate in Japanese patients with stable effort angina pectoris	Shimada K,Daida H	循環器内科学
11	European heart journal	T helper 1/T helper 2 balance and HMG-CoA reductase inhibitors in acute coronary syndrome: statins as immunomodulatory agents?	Shimada K,Daida H	循環器内科学
12	Circulation journal	Prognostic value of the metabolic syndrome for long-term outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention	Kasai T,Daida H	循環器内科学
13	Circulation journal	Japan assessment of pitavastatin and atorvastatin in acute coronary syndrome (JAPAN-ACS): rationale and design	Miyauchi K, Daida H	循環器内科学
14	J Clin Gastroenterol.	Increased esophageal sensitivity to acid and saline in patients with nonerosive gastro-esophageal reflux disease.	Nagahara A	消化器内科学
15	J Gastroenterol.	Metabolic syndrome and gastrointestinal dise	Watanabe S	消化器内科学

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
16	World J Gastroenterol.	Gastrointestinal stromal tumor of the stomach with a giant abscess penetrating the gastric lumen.	Osada T	消化器内科学
17	Cancer Lett	Endostatin Gene Transfer in Murine Lung Carcinoma Cells induces vascular endothelial growth factor resulting in up-regulation of in vivo tumorigenicity	Cui R, Takahashi K. et al.	呼吸器内科学
18	Lymphat Res Biol	Vascular endothelial growth factor-D is increased in serum of patients with lymphangioleiomyomatosis.	Seyama K, Kumasaka T et al.	呼吸器内科学, 病理学第1
19	Am J Respir Crit Care Med	Senescence Marker Protein-30 Protects Mice Lungs from Oxidative Stress, Aging and Smoking.	Sato T, Seyama K et al.	呼吸器内科学
20	J Leukoc Biol	Induction of human neutrophil chemotaxis by Candida albicans-derived $\alpha$ -1,6-long glycoside side-chain-branched $\beta$ -glucan.	Sato T, Iwabuchi K et al.	呼吸器内科学, 生化学第2
21	Respiration	Genistein, a phytoestrogen, attenuates monocrotaline-induced pulmonary hypertension.	Homma N, Morio Y et al.	呼吸器内科学
22	Nephrol Dial Transplant	Eicosapentaenoic acid ameliorates diabetic nephropathy of type 2 diabetic KKAY/Ta mice: Involvement of MCP-1 suppression and decreased ERK 1/2 and p38 phosphorylation	Hagiwara S	腎臓内科学
23	Food Function	ストレプトソトシン誘発糖尿病ラットにおける還元水の影響	金子 滋	腎臓内科学
24	Proc Natl Acad Sci USA 103: 6160-6165, 2006	Bispecific abs against modified protein and DNA with oxidized lipids.	高崎 芳成	膠原病内科学
25	Rheumatology (Oxford). 2006	Decreased CD161+CD8+ T cells in the peripheral blood of patients suffering from rheumatic diseases.	満尾 晶子	膠原病内科学
26	Autoimmunity. 2007Feb40(1): 9-15.	Down-regulation of CD72 and increased surface IgG on B cells in patients with lupus nephritis.	仲野 総一郎	膠原病内科学
27	日本臨床	Treatment of chronic lymphocytic leukemia and NK-cell leukemia/lymphoma	Sugimoto K.	血液内科学
28	Eur J Haematol.	Cytokine-producing sarcoma mimics eosinophilic leukemia	Ando J.	血液内科学
29	Int J Hematol.	Lung injury associated with bortezomib therapy in relapsed/refractory multiple myeloma in Japan: a questionnaire-based report from the "lung injury by bortezomib" joint committee of the Japanese society of hematology and the Japanese society of clinical hematology.	Oshimi K.	血液内科学
30	臨床血液	Type 1 hyper-IgM syndrome diagnosed in a 28-year-old patient with recurrent infections since childhood	Koike M.	血液内科学

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
31	日本眼科学会雑誌	A clinical study of intraocular malignant lymphoma	Oshimi K.	血液内科学
32	Intern Med.	T-gamma delta LGL leukemia with complications.	Oshimi K.	血液内科学
33	Oncogene	Spindle checkpoint protein Bub1 corrects mitotic aberrancy induced by human T-cell leukemia virus type 1 Tax	Sasaki M.	血液内科学
34	臨床血液	Diffuse large B-cell lymphoma expressing surface immunoglobulin heavy chain (Ig alpha) and lacking light chains	Ando M.	血液内科学
35	Blood	Severe pulmonary complications in Japanese patients after bortezomib treatment for refractory multiple myeloma.	Sasaki M.	血液内科学
36	Biochem Biophys Res Commun.	Beneficial effects of candesartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, on $\beta$ -cell function and morphology in db/db mice	Jiaqing Shao	代謝内分泌学
37	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	Repetitive Fluctuations in Blood Glucose Enhance Monocyte Adhesion to the Endothelium of Rat Thoracic Aorta	Kosuke Azuma	代謝内分泌学
38	Endocrine Journal	Long-Term Effect of Combination Therapy with Mitiglinde and Once Daily Insulin Glargine in Patients who were Successfully Switched from Intensive Insulin Therapy in Short-term Study	Naoki Kumashiro	代謝内分泌学
39	Synapse Apr 4:60(1):56-68,2006	Effects of repeated phencyclidine administration on adult hippocampal neurogenesis in the rat	Liu J.	精神医学
40	Brain Cogn 61(2006)189-194,2006	A quantitative near-infrared spectroscopy study: A decrease in cerebral hemoglobin oxygenation in Alzheimer's disease and mild cognitive impairment	Arai H.	精神医学
41	Journal of Gerontology 61(7)660-662,2006	Genetic association between USF1 and USF2 Gene polymorphisms and Japanese Alzheimer's Disease	Shibata N.	精神医学
42	J Neurosci Res	Decline of striatal dopamine release in parkin-deficient mice shown by ex vivo autoradiography.	Sato S.	神経学
43	NeuroReport	Expression levels of VEGF and its receptors in Parkinson's disease,	Wada K.	神経学
44	Stroke	Cilostazol protects against brain white matter damage and cognitive impairment in a rat model of chronic cerebral hypoperfusion.	Watanabe T.	神経学
45	Arch Dis Child Neonatal Ed	Plasma active ghrelin levels until 8 weeks after birth in preterm infants: relationship with anthropometric and biochemical parameters	Shimizu T	小児科学

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
46	J Gastroenterol	Effects of alpha-linolenic acid on colonic secretion in rats with experimental colitis	Shimizu T	小児科学
47	J Pediatr Gastroenterol Nutr	Neonatal transient eosinophilic colitis causes rectal bleeding in early infancy	Ohtsuka Y	小児科学
48	J Pediatr Surg: 41: 2052-2055, 2006	Laparoscopy-assisted transanal pull-through at the time of suction rectal biopsy: A new approach to treating selected cases of Hirschsprung's disease	Yamataka A.	小児外科学
49	Pediatr Surg Int: 22: 140-143, 2006	Diagnostic laparoscopy-assisted cholangiography in infants with prolonged jaundice.	Okazaki T.	小児外科学
50	J Urol: 176: 1806-1809, 2006	Review of 86 myelodysplasia patients with neurogenic bladder who had sigmoidocolocystoplasty followed-up for more than 10 years	Hayasi Y.	小児外科学
51	Acta Neurochir (Wein)148: 859-864, 2006	Analysis of potential diagnostic biomarkers in cerebrospinal fluid of idiopathic normal pressure hydrocephalus by proteomics	新井 一	脳神経外科学
52	J Neurosurg105: 459-464, 2006	Expression of the water-channel protein aquaporin 4 in the H-Tx rat: possible compensatory role in spontaneously arrested hydrocephalus	宮嶋 雅一	脳神経外科学
53	脳卒中の外科34: 114-117, 2006	高齢者破裂脳動脈瘤に対する瘤内塞栓術の治療成績	大石 英則	脳神経外科学
54	Hum Genet. 119: 611-616, 2006.	A large-scale genetic association study of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine	Horikoshi T	整形外科
55	J Orthop. Sci. 11: 248-253, 2006	Validation of the Japanese Society for Hand Surgery of the Hand Version of the Quick Disability of the Arm, Shoulder, and Hand (Quick DASH-JSSH) questionnaire	Imaeda T	整形外科
56	Polymer Engineering and Science 46: 1461-1467, 2006	Mechanical properties of the bioabsorbable polyglycolic acid-collagen nerve guide tube	Ichihara S,	整形外科
57	Experimental Cell Research 312: 3075-3083, 2006	Osteopontin is associated with nuclear kB gene expression during tail-suspension-induced bone loss	Ishijima M	整形外科
58	Key Engineering Materials 309-311: 1059-1062, 2006	Porous granules of beta-tricalcium phosphate composed of rod-shaped particles	Ioku K	整形外科
59	6th Asian Bioceramics Symposium 2006 Proceedings 1-4,2006	Porous beta-tricalcium phosphate composed of rod-shaped particles	Ioku K,	整形外科
60	Am J Med Genet A. 140: 1280-1284, 2006	Comprehensive screening of multiple epiphyseal dysplasia mutations in Japanese population	Itoh T	整形外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。